

まきびと

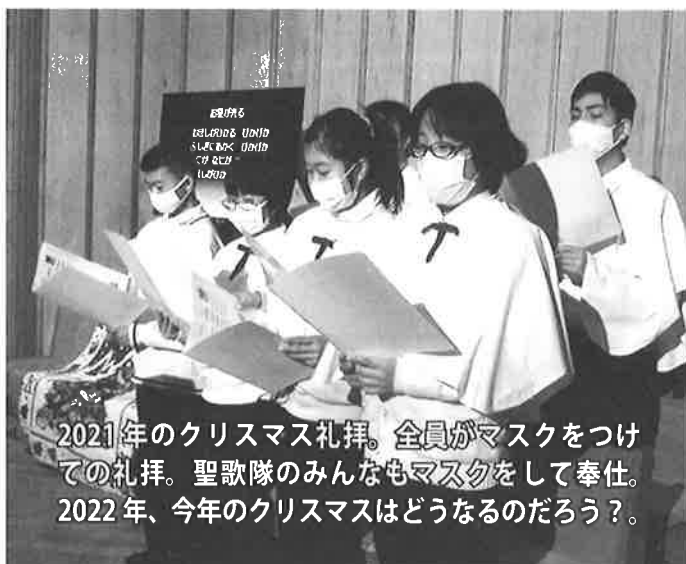
2022年 社会福祉法人
クリスマス号 牧人會

961-8061 福島県西白河郡西郷村 TEL 0248-25-2046
小田倉字上上野原 158 番地1 FAX 0248-25-3776
振替口座 02160-6-244

クリスマスを迎えるとき、当会の活動と事業計画をご支援ください。



2019年のクリスマス礼拝。みんなが讃美歌を歌い、喜びをわかちあえた礼拝。新型コロナ感染拡大前のマスクをつけていない礼拝。



2021年のクリスマス礼拝。全員がマスクをつけての礼拝。聖歌隊のみんなもマスクをして奉仕。2022年、今年のクリスマスはどうなるのだろうか？

児童発達支援センター開設にむけて改修工事を開始した、当会の2022年度事業活動をご支援ください。 理事長 山下 勝弘

クリスマスの挨拶と共に、当会の今年度の活動と事業計画を報告いたします。

当会は現在、主に知的障がいのある幼児から高齢者までを対象に15種別65事業の福祉支援活動を、福島県、山形県、宮城県3県内の11市町村で実施しています。

2022年度も、2020年度以降の新型コロナウイルス禍が深刻化した状況下で、地域社会に貢献できる福祉サービス提供を可能にする以下の活動と事業計画を継続して推進しています。

1、求められる福祉支援サービスの確実な提供と充実

相談支援サービス利用者を除く直接福祉サービス受益利用者数は、児童と成人

合計で620名になります。

これらの利用者はじめ地域社会で求められている福祉支援サービス提供の実践と充実を目標に、新型コロナ、インフルエンザ感染対策を最重視しそれぞれの福祉現場で、職員が誠実に働きに参加しています。

2、地域社会の福祉的需要に応える社会福祉充実計画の実施

地域社会の福祉的需要に応えるために当会では社会福祉充実計画を策定し、今年度は地域社会から強い要望のある「児童発達支援センター」新設整備活動を福島県東白川郡地域で開始しました。具体的には埴町の配慮により埴町役場に隣接する元町立「埴保育園」（園舎 鉄骨平屋建 758㎡、＜無償＞、土地 4138㎡ ＜町有地及び民有地 有償＞）の譲渡を

受け、上記園舎を改修整備して児童発達支援センター新設事業計画ですでに改修工事を開始しています。

土地の取得費と改修工事費をあわせた事業費総額は1億円を超えますが、当会はこれを社会福祉充実計画事業として実施しています。

また当会では、キリスト教会と連帯した地域に貢献する福祉活動の推進を社会福祉充実計画内容に位置付けています。キリスト教会と連帯して、地域社会に生活する人々と共生する福祉活動に積極的に推進しています。

クリスマスを迎えるとき、当会の今年度活動と事業実施に、ご理解とご支援を、心からお願いいたします。

2022年のクリスマス、また2023年を迎える時、心からの感謝をこめて当会の活動の現状と、事業計画の内容を報告し、みなさまに一層のご理解とご支援をお願いいたします。

児童発達支援センター開設へ、改修工事は順調 幼児療育支援の専門的拠点施設 ■ 2023年4月事業開始



児童発達支援センターへ改修工事を開始した元埴保育園全景

当会が福島県東白川郡埴町で実施している「児童発達支援センター」新設事業は、埴町役場に隣接する元町立「埴保育園」園舎を改修整備して、放課後等デイサービス事業、相談支援事業等も併行して福祉支援サービスを提供する拠点施設整備事業です。2023年4月開設に向けて改修工事は順調に進んでいます。



建物内部改修工事状況



感染予防訓練をする職員

依然として深刻な新型コロナウイルス感染拡大

第7波新型コロナウイルス感染拡大が収束に向い、行動規制が緩和された社会環境下、当会が福祉サービス提供地域では、深刻な感染拡大の現実に苦慮しています。新型コロナウイルス感染対策を最優先した生活様式を堅持して、職員全員が感染予防訓練を実践しています。

優れた職人が育っています 生産活動参加利用者の現状

当会が運営する就労支援施設「寒河江共労育成園」「あだち共労育成園」には、優れた技能を習得している利用者が活躍しています。「地図パズル」「木製玩具」「各種積木」の製品などは、その成果で、その技能は「優れた職人レベル」です。ぜひ、製品をご利用ください。



糸ノコでの切り抜き作業



山形ひかり学園「秋の運動会」

コロナ禍環境下の支援活動 理解と協力で豊かな内容の創造へ

新型コロナウイルス感染の発生と拡大は、当会が運営する福祉施設の生活と提供する支援サービス内容に深刻な影響を与えました。感染予防対策が望ましい日常生活と社会生活、また人間関係を阻害する環境を誘発させました。

その環境下で、当会ではそれぞれの福祉現場で利用者と職員、関係する家族がお互いに理解し合い協力して、新しい生活様式と支援活動のありかたと内容を求めてきました。

児童発達支援センター山形ひかり学園の「秋の運動会」もその事例で、環境に対応した方法と内容で幼児と家族、そして職員が楽しく参加し交流する充実した運動会になりました。

教会で、家庭で、幼稚園・保育園で 当会の木工生産製品を、ご利用ください



当会の関係福祉施設のユニークな製品に、木工製品があります。これらの製品は、仙台市にある日本キリスト教団東北教区センター「エマオ」でも、常設展示されています。

木工製品は、各種「十字架」を始めとするキリスト教会用家具、用品、高



品質の各種積木、木製玩具その他木馬、幼児用机・椅子、福祉施設用家具などが中心です。

詳細は当会のホーム・ページをご参照ください。ぜひご用命、ご利用ください。

写真左上「十字架」。写真上 東北教区センター内展示場。各種保育園・幼稚園児用テーブル・椅子等の受注製作のほか、各種「木製積木」「木製玩具」「地図パズル」等も製作。当会のホームページ「製品案内」をご覧ください。

牧人会後援会にご参加ください

感謝と報告

後援会会長 定家 修身

牧人会後援会は1971(昭和46)年に社会福祉法人牧人会設立とともに正式に活動を開始し、社会福祉法人牧人会の強力な協力支援団体として、現在にいたっています。

その主要な支援活動の目的と内容は、社会福祉法人牧人会に連帯し、理解し、協力するとともに、これを財政的に支援することです。

2021年度に牧人会後援会へ納入された会員の会費総額は5,481,325円で、これは個人会員と団体会員をあわせて481会員のみなさまが協力してくださった結果です。この納入された会費から、3,500,000円を2021年度の助成金として、社会福祉法人牧人会へ捧げました。

2021年度は特に、新型コロナウイルス禍環境に対応して社会福祉法人牧人会関係福祉施設の設備更新整備、社会福祉充実計画に関連した「児童発達支援センター」整備事業を中心に支援をしました。2022年度も、引き続きみなさまのご理解、ご加勢と共に、いっそうの後援会活動へのご参加とご支援を、クリスマスを迎える時、心からお願いいたします。(協賛広告)

白河めぐみ学園
Tel 0248-25-2046

白河こひつじ学園
Tel 0248-25-2055

あだたら育成園
Tel 0243-48-3111

須賀川共労育成園
Tel 0248-76-4155

あだち共労育成園
Tel 0243-48-3113

はなわ育成園
Tel 0247-43-3891

山形ひかり学園
Tel 023-672-2377

寒河江共労育成園
Tel 0237-86-7625

山形育成園
Tel 023-673-2575

すぎのこ園
Tel 0247-43-4391

児童発達支援センターまきびと
Tel 0248-25-0869

泉崎村障がい者支援センター
Tel 0248-53-3618

発達支援センターあだたら
Tel 0243-22-2800

相談支援センターこひつじ
Tel 0248-25-2055

まきびとの家
Tel 0248-25-2046